



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

ハウス用吹付け式
太陽光遮光材

クールコート

COOL COAT

PO・ガラス用/農ビ用/長期用

温室内の
気温を

下げる

温室ハウス内の過度の温度上昇を抑え、
作物と人にやさしい室温を実現します。

作物の
表面温度を

下げる



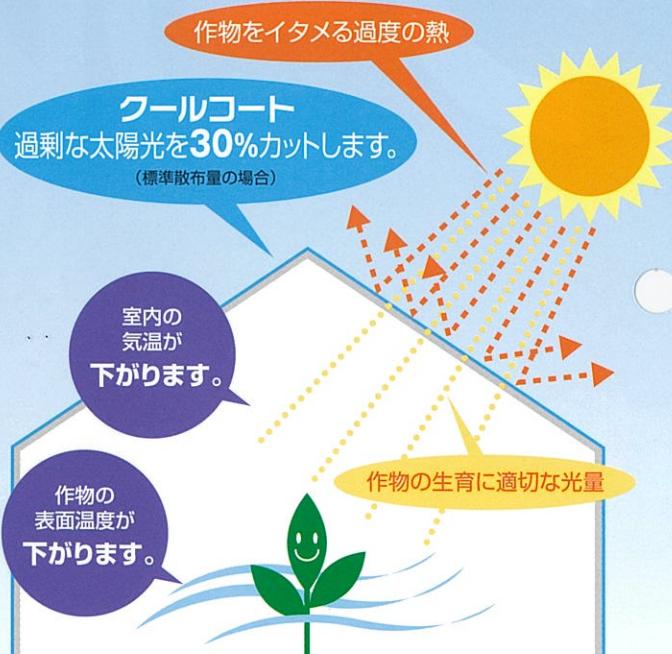
太陽光を遮光して温室内部の過度の温作物の生育に良い環境を実現します。

「クールコート」は、太陽による温室ハウス内の極端な温度上昇を防止する太陽光遮光材です。ハウス外面に噴霧することにより、太陽光によるハウス内部の過度の温度上昇を効率よく和らげて、作物の収穫に最大限良好な環境をもたらします。

「クールコート」は、フィルムの種類とご希望の剥離性に対応するため、3タイプを用意いたしました。用途に合わせてお選び下さい。

特長

- 1 過度な直射日光を効率良く和らげますので、作物の表面温度を低下させます(条件によって変動)。その為作物の「イタミ」を軽減し、収穫期間の延長が図れることで効率良く増収につながります。
- 2 外気温が30℃を越えるような夏の暑い日においては、ハウス内の気温を3℃~5℃程低下させます(条件によって変動)。夏の時期にこれだけ気温に差があると、体感的に随分と楽になりますので、作業環境が大幅に改善されます。
- 3 フィルムの種類と遮光目的に応じて3タイプのクールコートを用意しました。遮光ネットなどに比べて手間がかかる大変経済的です。
- 4 水性であり、使用している添加剤(防腐剤等)の有効成分はFDA(アメリカ食品医薬品局)に登録のあるものを使っていますので安心してお使いいただけます。
(主成分:水、炭酸カルシウム、エマルション樹脂)



効果が期待できる作物

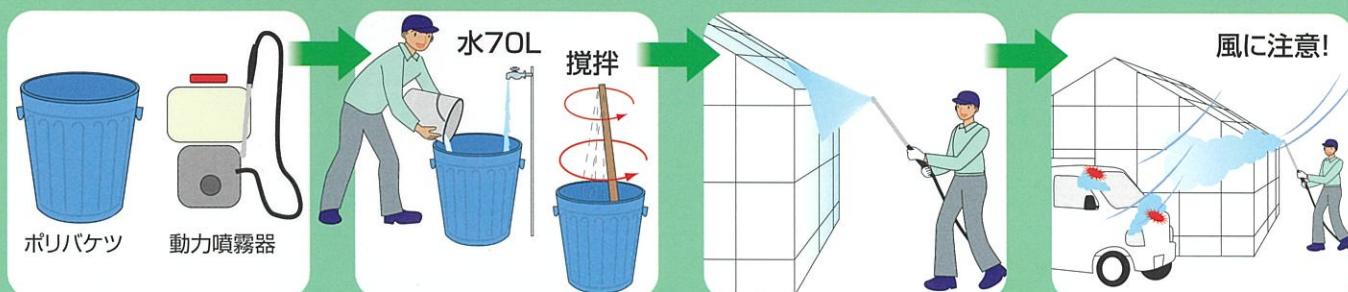
- イチゴ ●トマト ●ナス ●メロン ●ハウスミカン
- キュウリ ●ホウレン草 ●アスパラガス
- バラ ●ユリ ●キク など

温室ハウスで栽培される作物全般に効果があります

クールコートの作業手順

「クールコート」は3タイプとも1缶10L入りです。1缶につき水70Lで希釀して下

「クールコート」を散布する際の作業手順(3タイプとも同じ)



まず攪拌用の大きめのポリバケツ、動力噴霧器を用意します。

*クールコートは希釀すると流れやすいため散布作業は、日中に行うと効率よく付着します。

クールコートをよくかき混ぜてからポリバケツに入れて、水70Lを少しずつ攪拌しながら注入します。希釀した遮光材は沈殿しやすいので、時々攪拌して下さい。

動力噴霧器をセットして、ハウスが乾いている時に適量吹き付けて下さい。濃淡については厳密な規定はありませんが、 $10\text{ml}/\text{m}^2/\text{回}$ が標準散布量です。

風がある時はクールコートが飛散して周囲の物に付着することがありますから気を付けて下さい。また、同じ部分に多量に吹き付け過ぎないようにご注意下さい。

度上昇を緩和し、



農作物の増収に
快適な作業環境に
収穫期間の延長に

ハウス用吹付け式

太陽光遮光材

クールコート

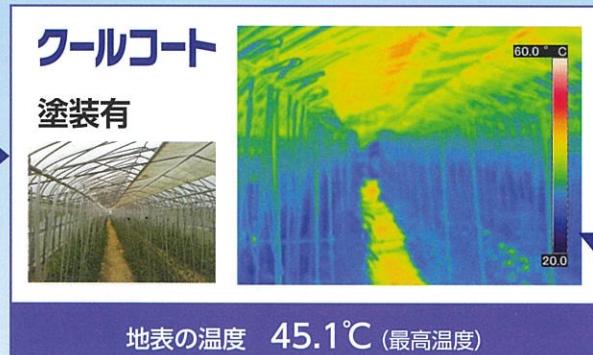
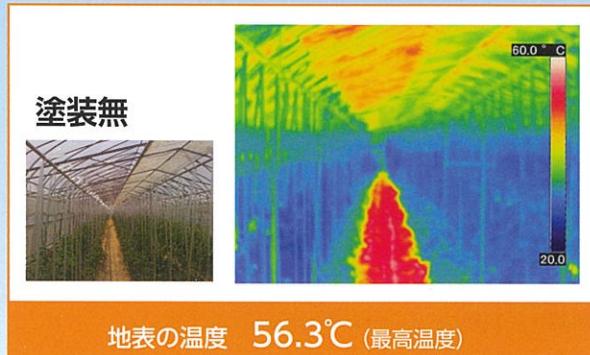
COOL COAT
PO・ガラス用/農ビ用/長期用

実績拡大中

100万m³突破/年間

ビニールハウス内及び作物表面温度(サーモグラフィによる測定)

■ ビニールハウス



地表温度差は
約10°C

■ 作物(トマト)



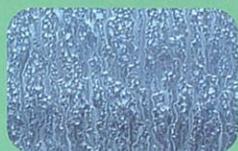
作物表面温度差は
約4°C

※温度、湿度等の影響により誤差が生じます。

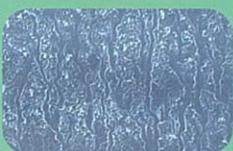
さい(8倍に希釀)。それで約1反(約1000m³)の散布が可能です。

「クールコート」の遮光状況

(5月1日に8倍希釀でPOに散布)



散布直後



30日後



45日後



60日後

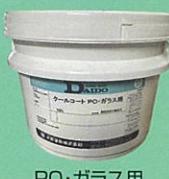
■ タイプと容量

PO・ガラス用 10L

農ビ用 10L

長期用

10L



PO・ガラス用



農ビ用

簡吹薄
単きめ
作業で
だけの

■ 1,000m³に対する使用方法(PO・ガラス用の場合)

| 希釀率 (遮光材:水) | PO・ガラス用 (缶) | 水 (L) | 遮光率 (%) | 落ちる目安 (週) |
|----------------|----------------|----------|------------|--------------|
| 1 : 5 | 1.4 | 70 | 45.0 | 7~13 |
| 1 : 6 | 1.2 | 72 | 39.0 | 6~11 |
| 1 : 7 | 1.0 | 70 | 30.0 | 5~9 |
| 1 : 8 | 0.9 | 72 | 22.0 | 4~8 |

※クールコートは降雨等の影響で徐々に薄くなっています。

※気温・降雨等の気象条件により薄くなっていく速さは変わってきます。

※これらの数値は目安であり、保証するものではありません。

散布後の気象条件(降雨等)により、落ちるまでの期間は増減します。



ハウス用吹付け式
太陽光遮光材
クールコート

クールコートは基本的には雨風により2か月程度で自然に落ちるよう設計されています。ただし、実際にはフィルムの種類や銘柄、新古、天候(雨量、気温、紫外線の強弱)、散布量などにより落ちる速さは変わってきます。

■落ちる目安 (標準散布量 : 1缶10Lを70Lの水でうすめ、1000m²、約1反に散布)

| 使用タイプ | フィルムの種類 | 散布する時期 | 落ちる目安 |
|---------|-------------|---------|--------------------------------------|
| PO・ガラス用 | ポリオレフィン(PO) | 春～梅雨期 | 1.0～2.0か月 |
| | | 梅雨明け～真夏 | 1.5～2.5か月 |
| 農ビ用 | 農ビ(PVC) | 春～梅雨期 | 1.0～3.0か月 |
| | | 梅雨明け～真夏 | 2.5～4.0か月 (状況によっては落ちにくくなります。ご相談下さい。) |
| 長期用 | PO、ガラス、農ビ共用 | 通年 | 落ちません。 |

※これらの数値はあくまでも目安であり、保証するものではありません。フィルムの種類や使用年数、表面の状態、雨量の多少、太陽光線の強弱、散布した時期等々、早く落ちる場合もありますし、長期に残る場合もあります。あらかじめご了承下さい。

一般的に春先、気温が低い時期に散布した場合、落ちが速くなる傾向があり、梅雨明け後の気温が高い時期に散布した場合、落ちる期間が長くなる傾向があります。また、8月後半以降に散布する場合は必要以上に遮光期間を長引かせないために、落ちる目安を参考にして散布量を加減するなどの配慮をお願いします。

※降雨時や散布後の硬化前に降雨の可能性がある場合は、作業を行わないで下さい。付着が悪くなり、落ちが速くなる傾向があります。

※状況により個々のハウスに散布した遮光材の落ち具合が違いますので、初めは薄めに散布し、目安をつかんでから散布量を増やしていくことをお勧めいたします。

※長期用を散布すると落ちません。落とす必要がある場合は使用しないで下さい。

※PO・ガラス用剥離遅延剤(1L)、農ビ用剥離促進剤(1L)、クールコート剥離剤(10L)もございますのでご相談下さい。

※クールコート剥離剤の使用方法についてはご相談下さい。

安全衛生上のご注意

取扱い及び貯蔵上のご注意

- ①保存状態によっては表面に液体が分離している場合があります。
開ける前によく容器を振って下さい。(分離していても遮光材の性能に問題ありません。)
- ②散布作業中は、安全メガネやマスク等の保護具を着用して下さい。
- ③容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
- ④取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- ⑤しっかりフタをし、できるだけ涼しい場所(ただし0°C以上)で貯蔵して下さい。
- ⑥子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ⑦中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ⑧希釈したクールコートはその日の内に使いきって下さい。
- ⑨作業終了後は速やかに動力噴霧器を洗浄して下さい。クールコートが乾いてしまうとノズルの先端が詰まる恐れがあります。
- ⑩廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

緊急時及び応急処置

- ①目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ②誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ③皮膚に付着した場合には、速やかに多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

使用農家様の感想 (キュウリ栽培)

今年は例年に比べると、ハウス内で作業するのがだいぶ楽だった。ハウス内が35°Cを超えるときゅうりの育成環境も極端に下がるが、それがかなり軽減できました。

又、例年であれば5月から気温が上がってくると、上方の葉が痛んで変色してくるが、今年は葉が駄目にならなかった。そのため下の芽も順調に育ち収穫量も増えました。天候が曇りから急に晴れても強い光を抑えられたので、激しい天候の変化で果やけする事が少なくなり品質も保てました。

クールコートは吹付けするだけなので、ビニール自体を痛めることなく、ビニールの保ちも変わらないで使い易いです。



吹き付け状況

 **SINCE 1932.**
大同塗料株式会社
ISO 9001 (滋賀工場)



●お問い合わせは

本 社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号
TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>

製品の規格及び仕様は
改良等のため予告なく
変更する場合があります。

50-1176

, 20. 4. 11版 3,000 LO